

歌舞伎音楽としての

長唄の魅力をトークと実演で綴る

歌舞伎

を支える音と楽器

水音、風音、雨音、波音、

滝音、山おろし、雪音・・・

一つの楽器が表現する様々な音は

聞く人々を同じ情景へといざなう。

子供から大人まで

楽しく古典芸能に触れて

自分の身体に染み込んだ

日本の心を体感して下さい。

2022/1/10/月・祝

場所 / 犬山南部公民館講堂（愛知県犬山市羽黒摺墨11）

時間 / 13時開場、13時半開演（15時45分終了予定）

1部 「犬山こども長唄クラブ」記念発表会

日本語のリズムが楽しい音になる。独自のアプローチで教え続けて10年。
こどもたちによる、唄、三味線、鼓、太鼓、笛の演奏を披露します。

曲目 長唄「娘道成寺」「花見踊」「越後獅子」より



ご興味いただけましたらまずご参加ください。

2022/1/14/金 長唄 体験会

17:00～18:10 唄・太鼓 18:15～19:00 三味線

場所：塔野地公民館（駐車場有）詳細は下記問い合わせ先までどうぞ。

2部 歌舞伎を支える音と楽器 ～演奏とトークショー～

歌舞伎の舞台で伴奏音楽や効果音を担う囃子方で活躍する演奏家らによるトークと実演。

曲目 長唄「雨の四季」

<入場無料・予約不要>

主催 長唄・囃子・笛「藍ノ会」（山田）

後援 犬山市、犬山市教育委員会、「犬山こども長唄クラブ」

問い合わせ nem2-kaho@docomo.ne.jp 090-1479-7531

令和3年度文化庁（伝統文化親子教室事業）

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いますが、感染拡大状況により、開催を中止することがあります。ご了承ください。

小中学校の音楽教科書に日本の伝統音楽が取り上げられるようになって久しいものの、教育現場での実践において結果を出すことは難しいと言われています。こういった状況のもと、2011年より犬山を拠点に日本語のリズムを生かした独自の教授法を用いて活動が続けている本クラブでは小中学生の子供たちが楽しく長唄の練習に励んできました。本公演1部ではクラブ発足10年の集大成として、現クラブメンバー小学2年生から、高校生までの子供たちによる長唄の演奏を披露します。

また2部においては子供から大人まで楽しく古典芸能に触れることのできる企画を予定しています。歌舞伎の舞台で伴奏音楽や効果音を担う囃子方（はやしかた）として活躍する笛奏者福原寛氏らプロの演奏家を招き、長唄の楽しみ方や、歌舞伎の裏側で活躍する奏者によるエピソードなどを紹介します。歌舞伎に用いられる楽器や音が現代の日本人の体になどう染み込んでいるのか、観客の皆様にご体感頂ける催しを企画しております。

景勝地として全国から人が往来する犬山はもとも伝統芸能が盛んな町です。多くの方に伝統芸能の魅力を再認識いただき、こどもたちにもその楽しさを伝え、健やかに成長するお子さんを応援していきたいと思えます。皆様のご家族でのご来場をお待ちしています。

● 親もこどもも、無理なく、楽しく続けられるクラブ体制

本クラブでは年会費を回数割りで徴収するシステムをとり、参加した時に頂きます。
(文化庁の助成事業のため先生方への謝礼は頂いておりません。)

● 5 種目の楽器の中から組み合わせ自由で稽古を受けられます。

「長唄」というジャンルの中で使われている楽器全ての稽古を受けることができます。

●「唄、太鼓」5歳以上 ●「鼓・能管・篠笛」小学4年生以上 ●「三味線」小学1年生以上（個人指導のみ）

● プロの演奏家たちによる、本物の音楽を実体験できます。

犬山は全国的にも稀にみるプロの長唄奏者を輩出している地方都市です。東京の大歌舞伎や舞台、ラジオ、テレビで大活躍の演奏家の皆さんが、クラブの発表会の共演のために駆けつけてくれます。

● 本物の楽器に触れることができます。

いくつかの本物の楽器を体験することを通して、好きな楽器に出会えることを手助けします。

● こどもと一緒に「日本の伝統文化」に親しめます。

長いようで短い子育ての時間、保護者の方々にも興味をもって親しんでもらえる企画を発売しています。

活動内容：金曜日夕方 月2回 参加費1種目500円/回 場所 塔野地公民館

(日曜日夕方 月2回 囃子(太鼓・鼓)のクラスもあります。ご相談ください)

当クラブは2011年、日本語を話す延長上でこどもたちが音楽をはじめられたら、という想いからスタートしました。



「Q&A」,「コラム(長唄とこども)(和楽器)」などアップしています。是非ご覧ください。

<https://nagautaclub.com>

活動の様子はFBからどうぞ▶<https://www.facebook.com/nagautaclub>

